北海道和光純薬株式会社　理化学機器販売商社 株式会社 東北サイエンス　アルテア技研株式会社

株式会社 ハーモニ産業　株式会社 黒川製作所　コスモトレーディング株式会社　SEIKO 正晃株式会社

PerkinElmer Science with Purpose

北海道和光純薬 | 東北サイエンス | アルテア技研 | ハーモニ産業 | 黒川製作所 | コスモトレーディング | 正 晃
パーキンエルマー共催

# 列島縦断 代理店共催 パーキンエルマー ウェビナー2024

事前登録制

～PerkinElmer Japan 横浜移転ラボ＆アジア最大級・上海ラボツアーと全国主要代理店を繋いで生配信～

**日時**　2024年7月25日(木)　13:00–17:30

申込締切　2024年7月19日(金) 17:00

**参加申込 URL**　https://event.perkinelmer.co.jp/event/78612/clbw24

**参加形式**　Microsoft Teams

※ご使用経験のない方はご相談ください。
※当日参加 URL は後日お送りいたします。
※参加当日お名前を入力いただきますが、参加 URL 連絡の際付与するお申込番号での参加も可能です。

**参加費**　無料

全国主要 7 代理店（北海道和光純薬、東北サイエンス、アルテア技研、ハーモニ産業、黒川製作所、コスモトレーディング、正晃）とパーキンエルマーで、
Web セミナーを共催いたします！

本ウェビナーでは、花王株式会社・内藤先生と
東京大学・平田先生をお迎えし、ご講演いただきます。
招待講演以外にも分析テクニックのあれこれをわかりやすく解説いたします。

本社が 4 月末に移転し、新しくなったラボのご紹介だけでなく、
初の試みとなるアジア最大規模の上海ラボを中継でご紹介いたします。

どなたでもご参加可能です。また、途中入退出も可能です。
お申し込みいただいたお客様には、当日参加用 URL をお送りいたします。
講演内容は裏面をご覧ください。
ご不明点は裏面のお問い合わせ先または各営業担当者までお気軽にお知らせください。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

## 参加特典

参加者全員にもれなく
**ノベルティを進呈**
（後日お渡し）

&

分析消耗品を
**20% OFF** でご提供※

※ 2024 年 8 月末日ご発注分まで、JP 品番、サービスパーツは除く

## スケジュール

| | | |
|---|---|---|
| 13:00–13:15 | **開会のご挨拶** | |
| 13:15–14:00<br>招待講演 | **ATR-IR イメージングによる<br>角層細胞のうるおいの可視化**<br>**内藤 智 先生**<br>花王株式会社　解析科学研究所　上席主任研究員　理学博士 | 細胞スケールでの組成分布を把握することは、生体機能の研究や制御に有用です。ATR-IR イメージングによって、皮膚最表層の細胞の組成分布を知ることで、肌のうるおいや感触に寄与する情報が得られる事例を紹介します。 |
| 14:00–14:05 | **クロストーク** | |
| 14:05–14:25<br>PKJ 講演 | **IR イメージングの解析テクニック<br>– 多変量データを統計的 / 化学的に解析する –**<br>**新居田 恭弘**<br>アプリケーションリサーチラボ　分子分光分析担当 | IR イメージングは最大で数億もの吸光度値を含む多変量データを生成します。膨大なデータに含まれる化学的な情報を最大限引き出して可視化するために必要な解析の手法と進め方を詳しくご紹介します。 |
| 14:25–14:45<br>代理店中継 | **代理店リレー中継** | 全国主要代理店を繋いで各代理店から紹介させていただき、各社の魅力に迫ります。 |
| 14:45–14:50<br>ラボツアー | **PerkinElmer 上海ラボツアー** | 初の試みであるアジア最大級の上海ラボから生配信しラボの様子やこだわりなどをご紹介します。 |
| 14:50–15:05<br>PKJ 講演 | **2024 年度発売開始予定！<br>新製品ご案内**<br>**伊藤 友能**<br>営業本部西日本営業部 | 新たに、熱分析では DSC 9、TGA 9、STA 9、無機分析では NexION 1100、クロマト分析では LC300 Analytical HPLC が販売予定となりました。各製品についてご紹介いたします。 |
| 15:05–15:20<br>ラボツアー | **PerkinElmer Japan 新ラボ & 社内ツアー** | 4 月に移転した PerkinElmer Japan をご紹介します。社内の雰囲気から各装置の魅力までお伝えいたします。 |
| 15:20–16:05<br>招待講演 | **ICP 質量分析法の試料導入法の最前線<br>～固体試料分析から有機化合物分析まで**<br>**平田 岳史 先生**<br>東京大学大学院　理学系研究科　附属地殻化学実験施設　教授 | 私達のグループは PerkinElmer 社と共同で、ICP-MS への新しい試料導入法を開発しました。これにより、水やメタン、アンモニア、二酸化炭素、さらには揮発性有機化合物の直接検出も可能となりました。どのような試料導入法なのか、その原理と汎用性を紹介します。 |
| 16:05–16:10 | **クロストーク** | |
| 16:10–16:30<br>PKJ 講演 | **さらに一歩深く理解する<br>ICP-OES のあれこれ**<br>**古川 真**<br>アプリケーションリサーチラボ　無機分析担当 | 元素毎にプラズマ条件を最適化することに意味があるのか、検量線範囲を分析目的によって考える必要性、標準添加法における測定ばらつき要因と対策などを通じ、ICP の本質に迫り使いこなすための話題を提供します。 |
| 16:30–16:35 | **クロストーク** | |
| 16:35–16:55<br>PKJ 講演 | **He ガスはいつか無くなる？<br>ICP-MS における<br>He ガス代替ガスを用いた環境水の測定**<br>**敷野 修**<br>アプリケーションリサーチラボ　無機分析担当 | 近年、He ガスの入手が困難になってきており、今後も予測が出来ない状況にあります。ICP 質量分析法で用いるコリジョン法には一般的に He ガスが用いられています。ここでは、He ガス代替ガスを用いた環境水の測定について紹介します。 |
| 16:55–17:00 | **クロストーク** | |
| 17:00–17:20<br>PKJ 講演 | **QSight を用いた<br>PFAS 分析の最前線**<br>**梅澤 理賀**<br>アプリケーションリサーチラボ　クロマト担当 | PFAS は環境や健康への懸念点から、最近は世界的にその使用が規制されています。低濃度の分析が必要であるため、高感度な装置が必要です。ここでは QSight を用いた PFAS 分析の最前線をご紹介します。 |
| 17:20–17:30 | **閉会のご挨拶・JASIS 2024 出展の見どころ** | |

※セミナーの録画・録音・画面のスクリーンショットはお控えください。またそれらの二次利用もご遠慮ください。
※プログラムは予告なく変更となる場合がございます。
※当日の進行状況により、各演題の開始時間が前後する場合がございます。


**PerkinElmer Japan 合同会社**　www.perkinelmer.co.jp

本ウェビナーお問い合わせ　TEL 045-522-7822　E-mail PKJ_Marcom@perkinelmer.com

本社　〒221-0031　神奈川県横浜市神奈川区新浦島町 1-1-32 アクアリアタワー横浜 2F
営業本部　TEL. (045) 522-7822　FAX. (045) 522-7830
プロダクトサービス部 コールセンター　TEL. (045) 522-7825　FAX. (045) 522-7832


PerkinElmer
Science with Purpose